

第5次府中市総合計画  
にーまるさんまる  
しあわせ府中2030プラン

2030

選ばれるまちになるために  
次の未来へ。



広島県府中市  
Hiroshima Fuchu City



はじめに

現在、府中市をはじめ、地方自治体は大きな変化の流れの中にいます。

Society5.0の実現に向けた動きやAI、IoTといったICTの急激な進歩、若者を中心とした仕事や働き方、暮らしに対する意識の変化などが生じており、この変化を的確に捉え、対応していけるか否かが、全国的に人口減少・少子高齢化が進む中で地方自治体が今後も持続的に発展していけるか否かの分岐点となります。



また、本市が持続的に発展していくためには、こうした変化を捉えるだけでなく、本市の持つ特徴、強みといった、「府中市だからこそ」を前面に出していかなければなりません。

この点において、本市は、多種多様なものづくり産業の集積、全国トップクラスの教育・子育ての取組、歴史の裏打ちと時代の面影が折り重なった町並みの魅力、市街地からわずかに移動するだけで田園風景に出会える都市と自然の近接性・多様性、市内に数多く存在するまちづくりに熱心な人や団体など、他の自治体にはない特徴や強みが数多くあります。

このような「府中市だからこそ」といった特徴、強みを徹底的に磨いて伸ばし、市民の皆さんに本市へ愛着と誇りを持っていただくとともに、その魅力を発信し、市内外の人や企業から「選ばれるまち」となることを目指して、「第5次府中市総合計画」を策定しました。

また、今回は、総合計画の実行性を高め、各施策をより具体的に推進していくために、産業や観光などの分野別の新たな「戦略的ビジョン」の策定を進めるとともに、行政の質の向上を目指した「行政経営プラン」の策定を進めるなど、市役所の変革にも取り組んでいます。

本市が今以上に元気になるには、市民の皆さんと目指す将来像を共有し、共にまちづくりを進めていく必要があります。

「しあわせ実感！“力強さ”と“やさしさ”のある未来を創造するまち 府中市」の実現に向けて、市民、団体、企業、行政が一丸となって、まちづくりに取り組んでまいりましょう。

令和2年6月

府中市長 小野 申人

■ 序論	1
第1章 総合計画策定の背景	2
第2章 総合計画の構成・期間・進捗管理	4
第3章 総合計画に必要な視点	6
■ まちの未来構想	25
第1章 まちの将来像	26
第2章 将来像を実現するための基本目標	29
■ 要素別の政策分野と施策方針	35
基本目標1 力強い産業が発展するまち	35
基本目標2 人・つながりが育つまち	45
基本目標3 活気・賑わい <sup>にぎ</sup> を生むまち	55
基本目標4 安全・安心が持続するまち	67
基本目標5 ICT都市ふちゅうの実現	79
横断的目標 「選ばれるまち」ふちゅうの実現	83
将来像を実現するための行政経営の方針	86
■ 語句解説	89
■ 参考資料	95

# 序論



- 総合計画策定の背景
- 総合計画の構成・期間・進捗管理
- 総合計画に必要な視点

# 第1章 総合計画策定の背景

## 1. 総合計画とは

総合計画は、市政を推進していくための計画として最も上位に位置づけられる計画で、本市の総合的、計画的な行政推進の指針であり、また市民、企業、行政が一体となって共有し、協働して取り組むための総合的な指針としても位置付けられるものです。

## 2. これまでの取組

### (1) 第4次府中市総合計画

本市では、平成27(2015)年度に「第4次府中市総合計画」を策定し、将来像「笑顔で豊かな暮らしができる府中市～支えあい みんなで創る 府中愛～」を将来都市像に掲げ、6つの基本目標を定めてまちづくりを推進してきました。

### (2) 府中市まち・ひと・しごと総合戦略（第1期）

また、本市では、平成27(2015)年度に「府中市まち・ひと・しごと総合戦略」と「府中市人口ビジョン」を策定し、人口減少、少子化に対応する戦略として、本市の地域特性であるものづくり産業、歴史・文化、緑に囲まれた自然環境などを踏まえたうえで、「雇用の場の創出」、「子育て環境づくり」、「定住対策」などを施策の柱として掲げ、将来にわたって持続可能な地域を目指した取組を推進しています。

### 3. 新たな総合計画の策定の背景

#### (1) 新たな時代の潮流をとらえる

人口減少と少子・高齢化が進む中、人口減少の克服に向けた地方創生の取組が国や全国各地の自治体で進められてきましたが、人口の東京一極集中には歯止めがかからず、地方における人口減少や少子高齢化が進行しています。また、シェアリングエコノミーの考え方など、一人ひとりのライフスタイルに対する価値観の多様化が進んでいます。さらに、予想を上回るスピードで ICT が進歩しており、市民生活の分野や、産業、行政の分野においても、こうした最新の技術を取り入れることが必要になってきているなど、様々な分野で社会情勢は著しい変化を遂げており、今後も大きな変化が起こることが予想されています。

府中市においても、これまで第 4 次府中市総合計画や総合戦略において様々な施策を進めてきたところですが、少子化、高齢化の流れは変わらず、産業分野全体に対する影響は、より深刻さを増し、とりわけ、農業の継続、さらには地域社会の存続自体も厳しい局面を迎えています。

今、改めて、将来を見据えた長期的な視点に立ち、社会環境の変化や時代の潮流を的確に捉えたいうで、地域課題を克服する計画を策定する必要があります。

#### (2) 府中市の強<sup>い</sup>みを活かす

府中市が将来にわたって真に持続し続けるためには、市民が、府中市に生まれ（産み）、育ち（育て）、学び、住み、働き、活動するといった生活に幸せや豊かさを感じ、誇りを持ち、元気であることが大切です。

また、市外の在住者にも魅力を感じてもらい、府中市に来てもらうこと、そしてまちづくりの一員として迎え入れ、技術や知識、人脈などを通じて本市の活性化に寄与してもらうことも、府中市の持続的な発展には必要です。

改めて、人口減少・少子高齢化に真正面から向き合い、府中市の強みを再度認識し、それを十分に活かした「府中市だからこそ」を前面に打ち出した戦略を描き、本市の魅力を高め、価値を生み出す取組を行わなければ、全国に 1,700 以上ある地方自治体のなかに埋もれてしまい、「選ばれるまち」になることはできません。



こうした観点から、時代の変化に対応し、府中市の持つ強みを最大限に活かすため、新しい視点に立った「第 5 次府中市総合計画」を策定します。

この計画を、府中市が目指す将来像を実現するための羅針盤として掲げ、市民、団体、企業、行政が一体となり、また、市外在住者も巻き込んだ取組に広げ、「オール府中」でまちづくりを推進し、皆で力強い新たな一步を踏み出しましょう。

## 第2章 総合計画の構成・期間・進捗管理

### 1. 総合計画の構成

第5次府中市総合計画は、「未来構想」と「施策方針」で構成し、産業振興ビジョンなどの各戦略的ビジョンや個別計画、総合戦略、毎年度の予算と政策協議（以下「戦略的ビジョン等」という。）により実行していきます。

また、そうした取組の基礎となる方針として、行政経営プランを定めます。

#### ●未来構想

未来構想は、府中市の目指すべき将来像と将来像を実現するための基本目標を明らかにし、まちづくりの主体となる市民、団体、企業、行政が共有し、まちづくりを進めていくための羅針盤となるものです。

#### ●施策方針

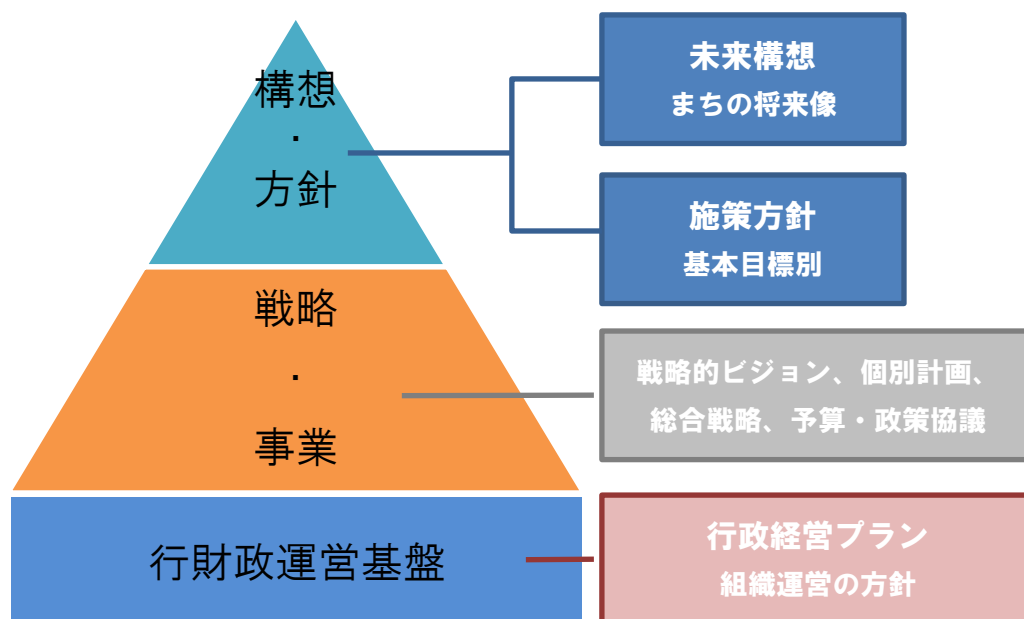
施策方針は、未来構想で掲げた将来像を実現するために、基本目標（テーマ）ごとに政策と基本施策の方向性を示すものです。

#### ●戦略

施策方針で掲げたテーマ別の方向性をもとに、戦略的ビジョン等で具体的な戦略を定め、事業を実施していきます。

#### ●行政経営プラン

組織、人材、財務などの「行政経営」を推進するもので、総合計画に基づいて実施する施策を支える取組を示すものです。





## 2. 総合計画等の期間

第5次府中市総合計画の計画期間は、令和2年度（2020年度）から令和11年度（2029年度）までの10年間とし、戦略的ビジョン等については、5年間程度の中期的な期間を計画期間とします。

なお、いずれも、政策・施策の執行進捗や社会情勢の変化などを踏まえ、必要に応じて見直しを行うこととします。

## 3. 総合計画の進捗管理

第5次府中市総合計画は、未来構想の実現を目指し、施策方針と戦略的ビジョン等の連動により施策を進めていきます。

また、施策の達成度を測るために、施策方針にはKGI（重要目標達成指標）を設定し、施策方針の成果を評価するとともに、戦略的ビジョン等にはKPI（重要業績評価指標）を設定し、施策方針の成果を達成するための過程を評価します、このKGIとKPIを連動させながら、PDCAサイクルにより計画の進捗管理を行っていきます。

